

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第1回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○協議事項（公開）

令和4年度地域活動支援事業について（提案事業ヒアリング）

## 3 開催日時

令和4年5月8日（日）午前9時00分から午後0時45分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、折笠忠一、  
坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、難波一仁、横尾哲郎

・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、小林次長、藤井班長、田中主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【西山会長】

- ・挨拶。

### 【山岸所長】

- ・挨拶。

### 【西山会長】

- ・本日の進行及び審査方法等について、事務局に説明を求める。

**【田中主事】**

－資料に基づき説明－

**【西山会長】**

- ・意見等を求めるが無いため、これよりヒアリングを開始することとし、事業提案者の入室を求める。

－西山会長から提案者に対し、説明時間が委員からの質問や審査時間を含め概ね20分であること及び説明と回答を簡潔にするようお願いする。併せて、審査の結果、提案事業が不採択となる場合があることを説明する。(以下、提案者全員に上記内容について説明した後、説明を受ける)－

- ・1番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者1】**

- ・『『うたって・おどって・みて』楽しい暮らしを応援事業』について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問・意見等を求める。

**【横尾委員】**

- ・長引く新型コロナウイルスの影響で増々気持ちが暗くなる状況の中、昨年開催された催しを拝見し、大変感動した。地域活動支援事業が変わる節目の年に貴重な提案をいただいたことに地域協議会委員として御礼申し上げたい。ぜひ、今後の活躍についてもお願いしたいと思う。

**【提案者1】**

- ・感謝申し上げます。実際に13区の中で文化協会があるのは安塚区や牧区ぐらいであり、大切な役割を担っていると思うので、今後ともよろしく願います。

**【坂井委員】**

- ・村民歌といった、牧区の踊りや歌もDVDに記録されたらどうか。

**【提案者1】**

- ・村民歌や踊りに関しては、既に記録を行っている。

**【坂井委員】**

- ・新型コロナウイルスの影響で祭り等の行事がなくなり、これからの世代が知らない状況も懸念される。昨年の「昭和の花嫁行列」のDVD等も拝見したが、とても感動した。10年後、20年後に見る人たちが牧区の歴史を感じることができると思われる。

**【提案者1】**

- ・今程言われたように、地域の行事等がなくなってきている。保存していくことが我々の役目だと感じているので、今後も継続していきたいと思う。

**【井上委員】**

- ・昨年も素晴らしい活動を行っていただいたが、今年度も同様に文化祭を行われるのか。

**【提案者1】**

- ・そのとおりである。指導者がメインとなるステージの発表や一般の方の作品の展示を予定している。

**【難波委員】**

- ・先程横尾委員も言われたように、今年で地域活動支援事業が終了する。長年区内の団体は地域活動支援事業を頼りに活動していたと思われるが、終了すると今までのようにはいかず、来年度以降は活動が停滞することも懸念される。今後は振興会が中心となることや区独自の予算が盛り込まれることが想定されるが、地域協議会も含めて横断的に協力しながら、30周年以降も活動していただけるように頑張っていたきたい。

**【提案者1】**

- ・その点について、最も心配しているところである。地域活動支援事業が終了した後、市からの何かしらの助成について地域協議会で協議いただき、我々のような団体に助成をしていただければありがたい。市長も地域協議会から主体的に考えてほしいと言われていることから、その点に関しても期待したいと思う。資金を出し合いながらも40周年まで続けていきたいというのは会員皆同じ思いなので、切にお願いしたいと思う。

**【西山会長】**

- ・ほかに質問がなかったため、1番の事業説明については終了する。
- ・2番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者2】**

- ・「沖見地区観光拠点づくり事業」について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問を求める。

**【横尾委員】**

- ・コツコツと整備に取り組み、今まで地元に対する思いや結束力を拝見させていただいた。牧区に対する思いが事業に表れている。地域活動支援事業が終わりを迎えて節目の年となるが、基本的な思いの積み上げが別の事業に繋がり、益々力になってくると思われるので、ぜひ今後もよろしくお願ひしたいと思う。

**【提案者2】**

- ・花が不揃いな場所もあり、整備が完全に終わっているわけではないが、将来的には花畑を主に見ていただくとともに、イベントを開催することで収益が出るような形にしていきたいと思うので、今後も継続して行っていきたい。
- ・ふるさと村の敷地にはキャンプ場もあり、広大な場所であるが、現在は藪になっている所もあり、整備するにも人手が少ないため、除草剤の散布や草刈り等の整備を一気にできず、毎年地道に取り組んでいかなければならない。綺麗に咲いた年もあれば、完璧にいかない年もあり、毎年四苦八苦しなながらコスモス畑を整備している。また、可能であれば、ふるさと村の山々を桜でいっぱいになりたいと考えている。そのためには人手が必要になるので、今後考慮していきたいと思う。

**【西山会長】**

- ・今程言われたように、ふるさと村は時期になると山桜が咲いていて、とてもきれいだ

**【井上委員】**

- ・私も桜の時期がとてもきれいだと感じている。木草庵など場所がとても良いと思うので、単独では難しいかもしれないが、ホームページ等を活用して現在の様子を紹介するのも良いと思われる。展望台も団体のみでの整備が難しくても、今後別の事業の展開も想定されるので、それらと関わりながら継続していただきたいと思う。

**【提案者2】**

- ・雑木が多くなっているため、植栽のみではなく伐採等も行うことで、きれいに整備していきたいと思う。広報に関しては、ホームページを作成するまでは至らないかもし

れないが、ブログに詳しい会員がいるため、ブログを作成して情報を発信していきたいと思う。

**【折笠委員】**

- ・将来的に展望台まで整備されるとのことだが、地域活動支援事業が節目の年を迎え今後事業が変わっていくことが想定される。「ここはこのようにしたい」、「ここを直したい」という自分のイメージを持たれていると思うので、早いうちに整理しておいた方が良いと思う。

**【提案者2】**

- ・展望台の整備について、実際に把握しきれず計画が立てられないところもあるが、今回整備する際に現状を確認し、直すべきところなどを整理したいと思う。

**【佐藤委員】**

- ・一昨年、実際に汗を流して取り組んでいる姿を拝見し、感激した。そういった活動を続けていくためにも、人力は団体で確保するとして、機材や燃料といった事務的な経費はある程度予算化したり、先程折笠委員が言われたような将来のための計画を立てて、皆さんが動きやすいように進めていった方がより一層良いと思われる。これからも頑張ってください。

**【提案者2】**

- ・協力していただいているほとんどの方がボランティアである。お茶1本、2本で頑張っている状況なので、備品や消耗品等を予算化できれば、こちらとしても良い。参考にさせていただきたいと思う。

**【清水委員】**

- ・展望台の入り口等に看板は立てたのか。

**【提案者2】**

- ・まだ立てていない状況である。

**【清水委員】**

- ・看板があれば良いと感じた。もう一つお聞きしたいのは、実働人員は何人なのか。その中に女性は含まれているのか。

**【提案者2】**

- ・沖見地区の町内会長や沖見地区協議会のイベント部会から4人、5人に協力していた

だいている。構成員は21人だが実働人員は多く出ても4人、5人程度である。昨年も看板を立てることを考えたが、なかなか予定が立たず、どのような看板にするか考える段階だった。今年は看板を立てることを考えている。

**【西山会長】**

- ・ほかに質問がなかったため、2番の事業説明については終了する。
- ・3番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者3】**

- ・「宮口古墳花ロード活動事業」について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問を求める。

**【横尾委員】**

- ・今回もすばらしい事業を提案いただき感謝申し上げます。昨年も提案していただき、宮口古墳公園の前を通るたびにどのように変化してくのかをわくわくしながら拝見させていただいた。整備するにあたり非常に大勢の方が参加されていて驚いた。昨年からの継続事業であり、より充実した事業内容である。地域活動支援事業は節目の年を迎えるが、今後も継続して取り組んでいただきたいと思います。

**【難波委員】**

- ・昨年の提案時にも、施設自体が市の施設であることや担当課から苗木や種子などを出してもらえないのかといった話を地域協議会で協議した。今回は地域活動支援事業があるためこの場で提案されているが、本来遊歩道の整備も管理者である市が行うべきだと思われる。来年度以降地域活動支援事業は終了し、今後、地域協議会でも協議していく形となるが、行政側で整備することが市の施設の本来の姿だと思われる。事務局への意見になるが、次年度以降念頭において取り組んでいただければと思う。

**【山岸所長】**

- ・今程の話について補足させていただく。昨年、地域協議会での話を受け、担当課の方に花苗200本を予算要求させていただいた。それ以上に宮口の方が大切に思い、整備して下さるとのことで頭が下がる思いである。今程難波委員が言われたように、本来市が行わなければならない部分まで整備していただき感謝申し上げます。また、予算要求が足掛かりとなり、今後拡大に繋がればと思うところである。

【西山会長】

- ・宮口町内の方の姿も多く見られるが、町内会として取り組んでいるのか。

【提案者3】

- ・作業は力仕事が多く、特に遊歩道の整備となると男性の力が必要になってくる。しかし、メンバーのほとんどが女性のため、去年は長さ6メートルの花壇を2つ作るという大変な作業を多くの男性陣に手伝っていただいた。今年もお願いすることを予定している。宮口町内会として協力いただきたいと思っているが、まだそこまでの理解は得られていない。

【井上委員】

- ・講師を招いて講習会を開催されるとのことで、とてもすばらしいと思う。上越市の古墳や歴史的な遺跡については行政でも様々な方法を用いて周知していると思うが、それらの学習会もあるのか。

【提案者3】

- ・講習会について依頼したところ、快く引き受けてくださった。今回は宮口集落の方が発掘に携わった過去の苦労について等、40年前から資料館に尽くして下さっている先生に講師をお願いしたところである。専門の先生に関しては、文化行政課で協力していただけるとのことである。

【井上委員】

- ・今回に限らず、市の計画等はないのか。

【山岸所長】

- ・要請があれば対応するというところである。市が説明会を設けるという計画は特にな  
い。

【井上委員】

- ・市の文化施設の行事の一環として、常にではないが学習会や講演会をする計画があっ  
ても良いのではないかと思った。

【山岸所長】

- ・牧村時代には企画展等があったが、現在は市内に歴史博物館もあり、牧区の資料館で  
は、主なところは展示、観賞となっているが、今程の井上委員のお話は文化行政課に  
伝えたいと思う。

**【井上委員】**

- ・古墳時代の遺跡としては、宮口古墳は大事なものだと思う。

**【西山会長】**

- ・現在公共施設の統廃合が進められている中、宮口古墳が残っているということは残さなければならないという思いが表れていると思われる。そのことをもっと発信していく必要があり、牧区の方も多く紹介されている J C V を活用するのも一つの手だと考える。

**【提案者 3】**

- ・報道の力は大きい。来年度はインスタグラムを始め、植栽イベントのボランティア等を発信していけば良いと考えている。

**【西山会長】**

- ・ほかに質問がなかったため、3番の事業説明については終了する。
- ・4番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者 4】**

- ・『「棚田きらめき」の駐車場造成事業』について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問を求める。

**【難波委員】**

- ・町内会でも自主財源として負担されるわけだが、収支の内容を見ると地域活動支援事業ありきのように思われる。今年で地域活動支援事業は終了するため、来年度以降一町内で事業展開していくことは難しいと考えられる。今後の一連のイベント展望はどのように考えているのかを教えてください。

**【提案者 4】**

- ・今程言われたように、地域活動支援事業頼りである。LEDの耐久性についても2年間見ても問題ないと思われることから、このイベントに多額を用いるのはひと段落すると考えている。地域活動支援事業がなくなっても何とか続けていけると考えている。

**【井上委員】**

- ・「Q&A」にて「物品の購入は施設等の整備・修繕のみが目的の事業は対象とならない」と記載があるように、本来地域活動支援事業にふさわしくないところだが、LEDラ

イトなど今までの事業で揃えた物品を活用するとともに、今回は駐車場の整備が重要と感じ造成事業を提案されたということで理解してよろしいか。

**【提案者4】**

- ・そのとおりである。確かに、単年度で見れば施設整備と備品購入のみと思われるかもしれないが、今までの一連の流れ等を踏まえ、ご理解いただければと思う。

**【清水委員】**

- ・今程言われた物品購入のほかに、看板の設置やホームページを用いて宣伝していることを事業費の中に加えれば良かったのではないかと感じる。また、棚田を宣伝することについて、棚田を守っていくことは非常に大変なことだと思うが、将来的に考えていることがあれば教えていただきたい。

**【提案者4】**

- ・今回提案した以外にも光る部分があるため、PRしていきたいと思う。また、棚田について、地域の根幹に関わる大変な課題だと思うが、入水処理や水が足りないことから池を新たに作ることを国の事業として取り組んでおり、月日が経ってぬかるみ、膝の上まで沈むような田にならないように頑張っている。

**【池田委員】**

- ・事業提案書のスケジュールについて、説明にもあったように準備に関しては町内会やボランティアで実施し、今年は冷たい飲み物を提供するという話であった。2か月以上イベントを開催されるにあたり、事業主体である泉町内会がどのような形でイベントに関わるのか、教えていただきたい。

**【提案者4】**

- ・イベント期間中の動きに関しては、夜間の開催となるため、蚊対策としてベンチの下に蚊取り線香を設置したり見回りを行う予定である。冷たい飲み物に関しては、ローテーションは組まず、動ける人員である18人程度が総出で対応することを予定している。

**【西山会長】**

- ・駐車場の貸受けの契約について、泉集落として持ち主の方と契約し、地代の費用を負担されるのか。

**【提案者4】**

- ・集落会計の中で行えるようになると思われる。現在2、3か所程度同様の形で行っているため、それに準じていくと思われる。

**【西山会長】**

- ・土地の所有者は集落の方なのか。

**【提案者4】**

- ・集落出身の方だが、現在不在である。

**【西山会長】**

- ・ほかに質問がなかったため、4番の事業説明については終了する。
- ・一旦ヒアリングを中断し、休憩とする。  
(休憩)
- ・ヒアリングを再開する。
- ・5番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者5】**

- ・「川上 山里の風プロジェクト」について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問を求める。

**【横尾委員】**

- ・事業提案書の内容を聞いて、演奏を聴く価値は大いにあると感じた。ぜひ、よろしくお願ひしたいと思う。

**【井上委員】**

- ・昨年も演奏会に参加させていただき、内容がとても良かったことに加えて、来場者も非常に多かったことが印象に残っている。地域活動支援事業が終了することもあり、今後運営をするにあたってどのように資金を確保するかが大きな問題だと思う。チケット代で活動を賄う方法もあると思われるが、地域の皆さんはどのように感じているのか。

**【提案者5】**

- ・事業提案書にも記載のとおり、チケット代の水準をどの程度に設定すれば地域の皆さんが来てくださるのか、またイベントが成り立つのかを来年に向けて考えていきたいと思う。

**【井上委員】**

- ・すぐに答えは出ないと思われるが、今後も長く事業を継続していただきたいと思う。

**【西山会長】**

- ・今回ピアノ演奏ということだが、ピアノは川上会館にあるものを使用するのか。

**【提案者5】**

- ・そのとおりである。

**【西山会長】**

- ・もちろん調律を行うことで演奏に支障はないと思われるが、将来のことも見据えて川上会館のピアノは使うことはできるのか。

**【提案者5】**

- ・収支にも記載のとおり、調律を行うことで毎年コンサートに備えているが、本来はグランドピアノが望ましい。ただ、地域性を考えたり演奏者自身が信頼する人物から調律を行ってもらっていることなどから、川上会館のピアノを使用することで了承を得ている。グランドピアノがあったことに越したことはない。

**【井上委員】**

- ・チケット代を高額に設定して演奏を聴いていただくことを目指すのであれば、グランドピアノをレンタルしてもっと高い金額をいただく方法も考えられる。

**【西山会長】**

- ・ほかに質問がなかったため、5番の事業説明については終了する。
- ・6番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者6】**

- ・「地域づくり活性化事業」について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問を求める。

**【横尾委員】**

- ・とても斬新的な事業で驚いた。提案書記載の「行政支援を利用したくても利用できない、漏れ落ちがある」について、現在総合事務所の市民生活・福祉グループを中心に手厚く除雪支援を行っていただいていると思うが、それでも漏れ落ちがあるというのは具体的にどういうことか。

**【井上委員】**

- ・私も同意見である。行政側にも線引きがあり、そこから漏れ落ちることを認識されているのかをお聞きしたい。

**【山岸所長】**

- ・要援護世帯や高齢者、単独2人、若くても障害をお持ちの方がいる世帯等の要件に該当する方はリストアップされ、文書送付から申請の流れを経て毎年市の助成がある。さらに、県の災害救助条例が適用されると13万7千円程が上乘せになる。考えられるのは、冬期に主として動ける家族が急遽入院してしまった高齢者世帯など、そもそも要援護世帯として把握することができない世帯や、年齢は該当にならず体が弱い方などが挙げられる。ほかに提案団体の方で把握している事例があれば教えていただきたい。

**【提案者6】**

- ・まず、横尾委員が言われた質問は今程の内容でよろしいか。

**【横尾委員】**

- ・そのとおりである。行政支援のハードルがあり、それらを満たしている方は手厚く支援されているとのことだが、そこから漏れた対象がどのような方なのかを知りたかった。今程、山岸所長から具体例を挙げて説明いただいたので理解できた。積極的な提案であり、私は賛成である。

**【提案者6】**

- ・除雪機を購入する際の補助について、対象は集落であり振興会には補助できないという縛りがある。そのため、我々は何としても地域活動支援事業を活用させていただきたいと思い、提案しているところである。

**【横尾委員】**

- ・内容としては、補助金に加えて依頼者負担金として6千円をいただくことから、事業として成立していると考えられる。

**【提案者6】**

- ・市の認められる金額は、おおよそ13馬力で1時間1万3千5百円であり、3分の1を抑える形となる。

**【横尾委員】**

- ・仮に、行政の支援から漏れ落ちた際に積極的に声をかけてほしいということか。

**【提案者6】**

- ・そのとおりである。

**【難波委員】**

- ・事業提案書を最初に拝見した際、やはり行政で行うことではないか。牧区で生活する際に支障が出ているわけなので、それらを行政に伝えるのは地域協議会の役目だと思う。行政の支援から漏れ落ちるのは様々な条件がある。山岸所長が言われたように、市民が安全・安心に暮らしていくために、行政支援の枠に入らない方が出てきた場合の対応が必要となる。我々が一緒になって、このような問題について取り組んだり検討していかなければならない提案内容だと思う。

**【西山会長】**

- ・13馬力の除雪機を70万円弱で買えるのか。

**【提案者6】**

- ・同タイプのもので1番安いものを選定した。

**【坂井委員】**

- ・除雪機についてあまり詳しくないのだが、ピーターなのか。もしくはブルドーザーやユンボのことなのか。

**【提案者6】**

- ・ピーター規模のものである。

**【坂井委員】**

- ・「要援護世帯や行政支援から漏れ落ちる方」と記載されていることについて、高齢者の一人暮らし世帯が多く存在し、扶養に入っていると要援護世帯から漏れ落ちてしまうのが現状である。別の場所に住んでいる息子が除雪をしてくれると言っても、毎日できるわけではない。それらを踏まえると、枠を設けることの必要性を考えてしまう。私自身も除雪支援に来てほしいと感じる。振興会として宣伝することを考えると、様々な人が利用できるようにした方が良いのではないかと考える。安い金額で利用できることが分かれば宣伝しやすいのではないかと考える。息子と同居していたり扶養に入っているため該当にならないことになってしまうと、だんだん枠が狭まり、良い事業を展開しようとしているにも関わらず、利用者が少なくなっていくのではないかと懸念する。

広く声をかけても良いと思う。

**【提案者6】**

- ・皆さんのために取り組むものであることから、なるべく要望に応えられるように、固い枠ではなく融通が利くような形にしていきたいと思う。

**【清水委員】**

- ・支出について、除雪機が100万円以内なので経費の圧縮記帳になってしまう。減価償却にはあげないのか。圧縮し一括で減価償却してしまうのか。

**【提案者6】**

- ・本体に対して助成金の100%を譲渡した場合に、圧縮記帳すると資産額が0になってしまう。そのため、減価償却はしない。

**【西山会長】**

- ・ほかに質問がなかったため、6番の事業説明については終了する。
- ・7番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者7】**

- ・「地域の活性化促進事業」について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問を求める。

**【難波委員】**

- ・上越市主催の「灯の回廊」について、主催者側として3年間コロナ禍に負けず頑張ってきたわけだが、今年度で地域活動支援事業が終了することを受け、来年度以降は金銭面や実施するか否か等を含め、どのように考えているのかを教えていただきたい。

**【山岸所長】**

- ・「灯の回廊」について、市全体としてはろうそくと紙コップしか支給していない。安塚区、大島区、浦川原区、牧区、名立区、高士地区も市として用意しているものは一律のため、そこに上乘せして各区で地域活動支援事業を活用し、より充実するよう提案しているところである。一方、地域活動支援事業で牧区のように毎年提案している区はあまりないと思われる。地域活動支援事業を活用しないで実施している区もあれば、高士地区のように多額の補助を「高士ルミネ」に充てている区もある。牧区全体に関わることから、必要であれば地区協議会として意見書あるいは予算要求といった形で

要望すべきものになると思われる。地域活動支援事業の内訳を見ても、毎年100万円近くの金額を占めているため、活用せずに実施することはなかなか厳しいと思われ、元氣事業で予算要求するのか、意見書などで対応するのかといったところである。

**【難波委員】**

- ・来年度以降の区の独自予算で対応できるのであれば、対応していきたいと思う。逆に、牧区地区協議会で実施しない方向性になれば実施しないということか。

**【山岸所長】**

- ・そのとおりである。これまでの経過を見ると、地域活動支援事業がなくなったからといって、担当課が自ら「灯の回廊」の予算を盛り込むことは考えにくい。そのため、牧区として考えていかなければならない。

**【折笠委員】**

- ・そうであれば、実施している区でまとまって話し合い、検討した方が良いのではないか。

**【山岸市長】**

- ・牧区地区協議会の当番幹事は回り順のため、今年度の幹事のみ聞いても結論は出ないと思われる。実際に集まる機会はあるのか。

**【提案者6】**

- ・そういったことであれば、3役集まった中で協議させていただき、今後どうするかを決めたいと思う。

**【折笠委員】**

- ・予算要求するにしても、牧区単独ではなく、皆で集まって意見を言った方が議会に通やすいのではないか。

**【西山会長】**

- ・地域活動支援事業を活用している区としていない区があり、他区の状況といった全体をまず把握しなければならない。

**【山岸所長】**

- ・折笠委員が言われるのは、他区も交えて要望した方が力強いということか。しかし、要望していない区もある。

**【折笠委員】**

- ・要望しているところのみでも良いと思われる。

【山岸所長】

- ・高土地区については今後どうするのが気になるため、問い合わせしてみようと考えていたところである。

【折笠委員】

- ・安塚区や大島区はどうか。

【山岸所長】

- ・安塚区や大島区に関しては、地域活動支援事業を活用していない。昔から行ってきただけでもあり、自分たちで実施できる範囲で、多額のお金をかけないような形で行っていると思われる。

【西山会長】

- ・大島区は花火もあげているのではないかと。

【折笠委員】

- ・お金がかかっているように思われる。

【山岸所長】

- ・今程の意見については、地域活動支援事業を活用しているのか否かも含め、他区の現状を聞いたうえで回答したいと思う。

【清水委員】

- ・最初は安塚区や大島区で始めたが、世界一のキャンドルロードとしてギネス世界記録に登録されることを目的に牧区にも声がかかった。ただ、牧区の場合は全体ではなく、各地区協議会ごとでできることをしようという形になったが、実際は交通整備に従事する誘導員等を地区ごとで行うことが困難であった。牧地区では、厳しい寒さや危険を伴うものの、交通整備は必要不可欠なことであったため、地域活動支援事業を活用することになったという経過がある。今後は、大々的にポスターを作成し、宣伝するような周知の仕方を行うのか否かなど、市の観光がどのような判断をするかである。地区ごとに話し合いを行う以前に、市として考え方をはっきりさせない限り進まないと思う。

【横尾委員】

- ・今程清水委員が言われたように、以前川上地区でも交代して交通整備を行ったが、接

触事故を起こしてしまいました。その際にやめる方向性の意見も出たが、地区協議会全体で予算を獲得して何か方法はないかということで、地域活動支援事業を活用させていただくこととなった。牧区地区協議会とは異なるが、川上地区協議会ではそのような経過があった。地域活動支援事業がなくなれば、どうなっていくのかというところである。地域に丸投げしており、果たして担当課で現状を把握しているのか。

**【山岸所長】**

- ・その点については、毎年地域活動支援事業を活用してきた牧区としては強く進言しなければならないと思っている。

**【西山会長】**

- ・課題として、地域協議会の中で今後協議していきたいと思う。
- ・ほかに質問がなかったため、7番の事業説明については終了する。
- ・8番の事業提案者に説明を求める。

**【提案者8】**

- ・「自主防災活動支援事業」について、提案書により説明。

**【西山会長】**

- ・委員から質問を求める。

**【清水委員】**

- ・今程説明の中でもあったように、備品に関しては本来市が整備するものと思われるが、保管方法や通常の管理をどのようにしているのかを教えてください。

**【提案者8】**

- ・保管の方法については、指定避難所に常時置かせていただく形となる。指定避難所の責任者に管理していただき、我々防災士会が使い方等を指導する。

**【佐藤委員】**

- ・東日本大震災の時に上越市が福島県の方々を受け入れ、市の体育館を使用して避難所を設置した。当時、我々職員が交代で従事したが、ポップアップパーティーで一家族ずつ区切って休んでもらうなど、プライバシーを守っていただくことが既に始まっていたため、良い方法だと感じた。避難所には市の職員だけでなく、県の職員や様々な立場の方が仕事を分け合っていた。食事は、その人によって食べる量も異なるため配慮が必要となり、入浴についてもバスを利用して市営の温浴施設に案内するほか、

部屋の温度の確認や灯油の補充を行った。それらを踏まえ、個人のプライバシーの確保や新型コロナウイルス等を考慮すると、今回の備品は本来市が用意すべきものだが、地域活動支援事業も市の予算のため、先陣を切って提案団体に整備していただいた格好になると思われる。とても大切なことだと思うので、大いに使い方や保存の仕方について指導いただきたいと思う。

**【提案者 8】**

- ・貴重なご意見をいただいた。私自身、東日本大震災にボランティアとして参加した。避難所には、高齢者から若者、小さな子どもや病気の方など、様々な方がいる。それらの人が避難所へ一斉に押し寄せてくる時に必要なことは、事前に訓練することである。犬を連れて来る人がいたらどうするか、小さい子どもが来たらどうするか等に対応するためには訓練が大切になってくる。訓練をしなければ、いざという時に何もできない。そのため、各町内に戻られたらぜひ避難訓練に参加いただきたい旨を皆さんにお願いしたいと思う。

**【西山会長】**

- ・ほかにご意見等はないか。

**【提案者 8】**

- ・最後にPRさせていただきたい。地域協議会委員の皆さんの中で、人工呼吸のやり方を知っている方はどれだけいらっしゃるか。先程申し上げたが、AEDを使用した人工呼吸の講習は今年も継続して行う。昨年、地域活動支援事業を用いて整備したため今後も長く活用し、人工呼吸やAEDの仕方の講習を行っていきたいと思っている。救える命を救うという理念のもと、救命措置は一人ではできないため、できるだけ多くの方から知識を身に付けていただきたいと思っている。今後最も多いのは、冬期間のヒートショックである。家庭内で起こる事故のため、非常に危険性が高い。各町内に戻られたら、そのような話があった旨をぜひ町内会長等に伝えていただきたいと思う。

**【西山会長】**

- ・ほかに質問がなかったため、8番の事業説明については終了する。
- ・本日も予定していたヒアリングがすべて終了し、事務局で8団体分の集計を行う。地域協議会委員に関しては、集計作業と並行して事務局より資料の配布及び説明があるた

め、ご承知おきいただきたい。一旦、5分間の休憩とする。

(休憩)

**【西山会長】**

- ・会議を再開し、配布資料について事務局に説明を求める。

**【藤井班長】**

- ・「令和4年度牧区地域協議会年間スケジュール【確定版】」について
- ・「自主的審議事項活動に伴う難波さんとの意見交換会 まとめ」について
- ・「上越教育大学院生によるアンケートの調査結果」について
- ・「創造行政」（上越市創造行政研究所）について
- ・「地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について」

**【西山会長】**

- ・集計が出たため、再度事務局に説明を求める。

**【田中主事】**

- ・審査結果について報告させていただく。審査票集計の結果、8件全ての案件が委員の半数以上の○判定によって採択となり、補助金は希望額どおり総額431万9千円となった。審査票に基づく「総得点」の順位は別紙のとおりである。改めて、採択事業及び補助金額について確認をお願いする。また、結果通知書については、速やかに提案団体に送付する。

**【西山会長】**

- ・今程の事務局の説明について、質問や意見等はないか。

**【難波委員】**

- ・別紙記載の「審査人数」は審査票②を採点した人数なのか。

**【田中主事】**

- ・そのとおりである。○×を記入する審査票①で○判定とし、採点審査である審査票②を審査した人数である。

**【西山会長】**

- ・採択事業及び補助金額についてほかに質問がなかったため、報告内容のとおり決定することとし、総合事務所長へ報告する。
- ・令和4年度地域活動支援事業ヒアリングを終了し、続いて、その他連絡事項に移る。

**【藤井班長】**

- ・次回、第2回牧区地域協議会は5月17日（火）午後6時30分開催となる。後日案内文を送付するので報告をお願いしたいと思う。

**【西山会長】**

- ・意見を求めるが発言がなく、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

**【飯田副会長】**

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : [maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。